

水産インフラ輸出構想の推進について

1 概要

漁獲、加工など一連の水産関連企業の立地がある本県の強みを活かし、漁獲から流通に至る一連の鮮度管理システムの導入に高いニーズがあるベトナム等アセアン地域に対して、パッケージでインフラ輸出を行い、関連企業の業績拡大を通じた県内経済の活性化を図る。

2 これまでの経緯

- ・ H28. 10 研究会立ち上げ、構想策定
- ・ H28. 11 政府要望
- ・ H28. 12 ベトナム現地視察
- ・ H29. 3 「やまぐち産業戦略推進計画」（第四次改定）においてプロジェクトとして位置づけ
- ・ H29. 5 ベトナム・キエンザン省政府関係者来県
- ・ H29. 6 政府要望

3 ベトナム・キエンザン省政府関係者来県

一連の水産物の鮮度管理システムへのニーズが見込まれるベトナム・キエンザン省の人民委員会委員長をはじめとする政府関係者を5月14日（日）から18日（木）にかけて本県に招聘し、今後の取組推進についての覚書の調印や企業視察等を行った。

【参考】キエンザン省の概要

- ・ 人口 約172万人
- ・ 面積 6,348 km²（山口県とほぼ同じ）
- ・ 省都 ラックザー
- ・ ホーチミン市（人口約800万人）から西南に250km
- ・ 主な産業 農業と漁業。コメやココナッツ、パイナップルの栽培が盛ん。
- ・ 水揚げ量 年間約45万トン（ベトナム1位）



4 今後の取組について

- 本構想を実現するためには、今後、プロジェクトとしての実現可能性を精査していく必要があり、今年度、国による調査事業の実施を要望している。
- 今後、キエンザン省とも協力して、同省における水産インフラに係るニーズや、それに貢献できる県内企業の技術内容、事業フレーム等について調査を行い、本県ならではの構想の具現化を図ることとしている。